

はけの森の蜂宿 ～その1～

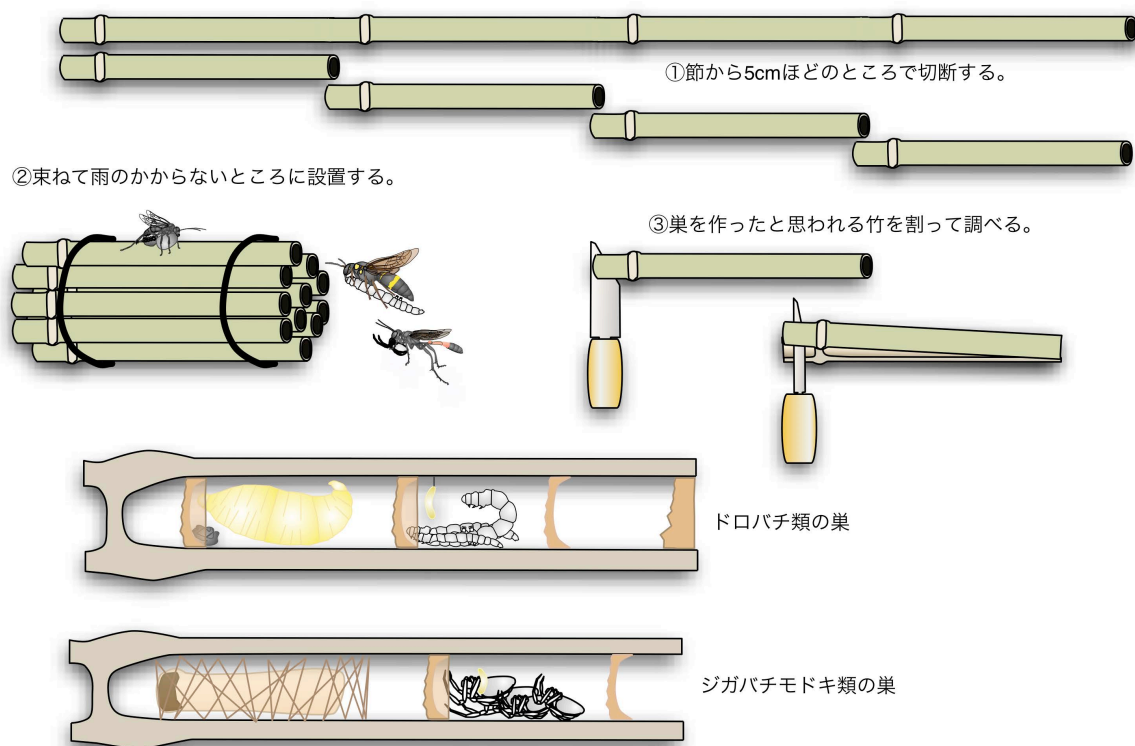
ハチの採集・観察場所として、「茅葺き屋根」は重要なポイントです。既存坑営巣型の狩蜂や花蜂、そしてその寄生蜂(特にセイボウ)が数多くいるからです。ただし観察するためには位置が高すぎます。そこで、篠竹やカヤを節が中心付近になるように短く切って、それを束ね、観察しやすい位置にセットします。蜂がそこを巣にしてくれれば、茅葺き屋根のある所までわざわざ出かけなくても、様々な観察ができます。また竹は簡単に割って中を観察することができ、観察後ビニールテープを巻いておけば巣は元通りです。さらに蜂宿の近くに適切な植物があれば(プランターで十分)、ドロバチの狩りや、ハキリバチの葉の切断なども観察・撮影できます(ついでに害虫退治や花粉媒介もしてくれます)。

※既存坑営巣型…自分で穴を掘るのではなく、甲虫の脱出口などの穴を利用して巣にする。

以前はネストトラップと呼んでいましたが、多摩動物公園で、「蜂宿」という言葉を見て以来、私も「蜂宿」と呼ぶことにしています。「蜂宿」には思いの外、様々なハチがやってきます。

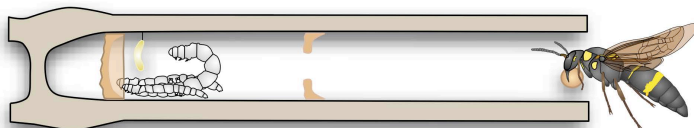
通常の蜂宿は篠竹を一節ごとに切断し、10～20本ほどを束ねて、雨の当たらない軒下につるします。「はけの森」には建物が無いので、屋根付きの小さな建築物を建て、周囲をヨシズで被った中に竹筒を収納してあります。これが素晴らしい結果を出しました。屋根の部分にニッポンギングチバチとカガンボギングチバチ、そしてヨシズにヤスマツヒメアナバチが巣を作っているのです。どれも珍しい蜂で、特にヤスマツヒメアナバチの営巣はここで始めて見る事が出来ました。

蜂宿…竹筒ネストトラップで狩蜂を観察しよう



I. 蜂宿に来る蜂の生活

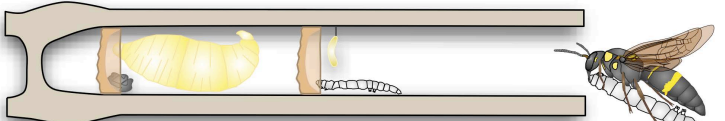
蜂宿で生活する狩蜂～オオフトアオビドロバチの例～



①唾液で柔らかくした粘土で部屋の仕切り壁を作る。

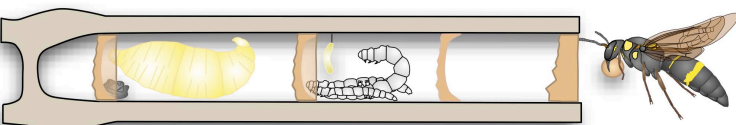


②仕切り壁が完成すると、天井に糸をつけ、その先に卵を産み付ける。



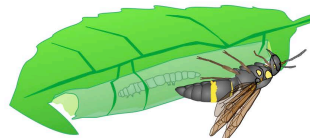
③卵から成虫になるまでに必要な獲物(食料)を運び込む。

d. 巣に運び込む。

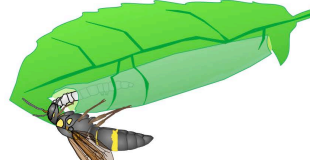


④必要な獲物を運び込んだら、部屋を仕切る。

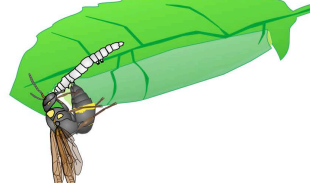
筒の長さが短くなったら、入口に少し厚めの壁を作り、巣を閉じる。



a. 葉を巻く蛾の幼虫の巣をのぞき込む。



b. 筒の反対側に逃げてきた所をとらえる。



c. 針で刺して麻痺させる。

蜂宿で生活する花蜂～バラハキリバチ～



●体はコンパス

ハキリバチは中脚を中心に、自分の体をコンパスのように回転させて、葉を丸く切り取ります。左の写真は葉を円形に切る撮る連続写真です。切り終わる最後の一咬みの前には、翅を動かして飛び上がる準備をします。

●葉片の形は2通り

切り終わりの写真を見ると、葉の上側に楕円形に切られた部分があります。これもハキリバチが切ったものです。このようにハキリバチが切り取る葉片には、円形と楕円形の2通りあります。ハキリバチはこの2種類の葉片をどのように使っているのでしょうか。

●葉片はコップの材料

花蜂が子供に用意する食料は、花粉と蜜でできた餠(あん)です。花粉は高タンパク、蜜は高カロリーの炭水化物ですから、両方が混ざった餠は良質の栄養です。しかし蜜は液体ですから流れる、あるいは周囲に染み込み易い扱いにくい材料です。そこで葉片でコップを作るのです。丸い葉片はコップの底やフタ、楕円形の葉片は3枚ほどで側面の壁とします。

葉の表裏も使い分けています。葉表はテクテクとして水を良くはじくので、葉表がコップの内側になるように使います。



Ⅱ. 今までに「はけの森」で観察した種類

◎ナミヒメクモバチ *Auplopus carbonarius*

体長：6～11mm

◎オオフタオビドロバチ(本土亜種) *Anterhynchium flavomarginatum micado*

体長：16mm ほど

◎サイジョウハムシドロバチ *Symmorphyus apiciornatus*

体長：6～8mm

◎フタスジスズバチ *Didcoelius japonicus*

体長：15～19mm

◎ムナカタエンモンバチ *Stigmaeus munakatai*

体長：5～6mm

◎ヤスマツヒメアナバチ *Nitela yasumatsui*

体長：3～4mm

◎ナミジガバチモドキ *Trypoxylon petiolatum*

体長：12～17mm

◎オオジガバチモドキ *Trypoxylon malaisei*

体長：11～16mm

ニッポンギングチバチ *Rhopalum nipponicum*

体長：7～8mm

◎カガンボギングチバチ *Crossocerus vagabundus yamatonicus*

体長：7～12mm

◎バラハキリバチ *Megachile nipponica*

体長：11mm：葉を切断して楕円形・円形2種類の葉片でコップを作り、それを房室にする。

◎ヒメハキリバチ *Megachile spissula*

体長：9mm：葉を切断して、房室の壁を作る。

◎オオハキリバチ *Chalicodoma sculpturalis*

体長：22～25mm：葉ではなく、樹脂で房室を仕切る。

◎ハラアカハキリヤドリ *Euaspis basalis*

体長：15mm くらい：オオハキリバチの巣を改造して自分の巣にしてしまう労働寄生蜂。

◎シリアゲコバチ *Leucospia japonica*

体長：11mm：既存坑営巣型のハナバチ類に寄生する。